

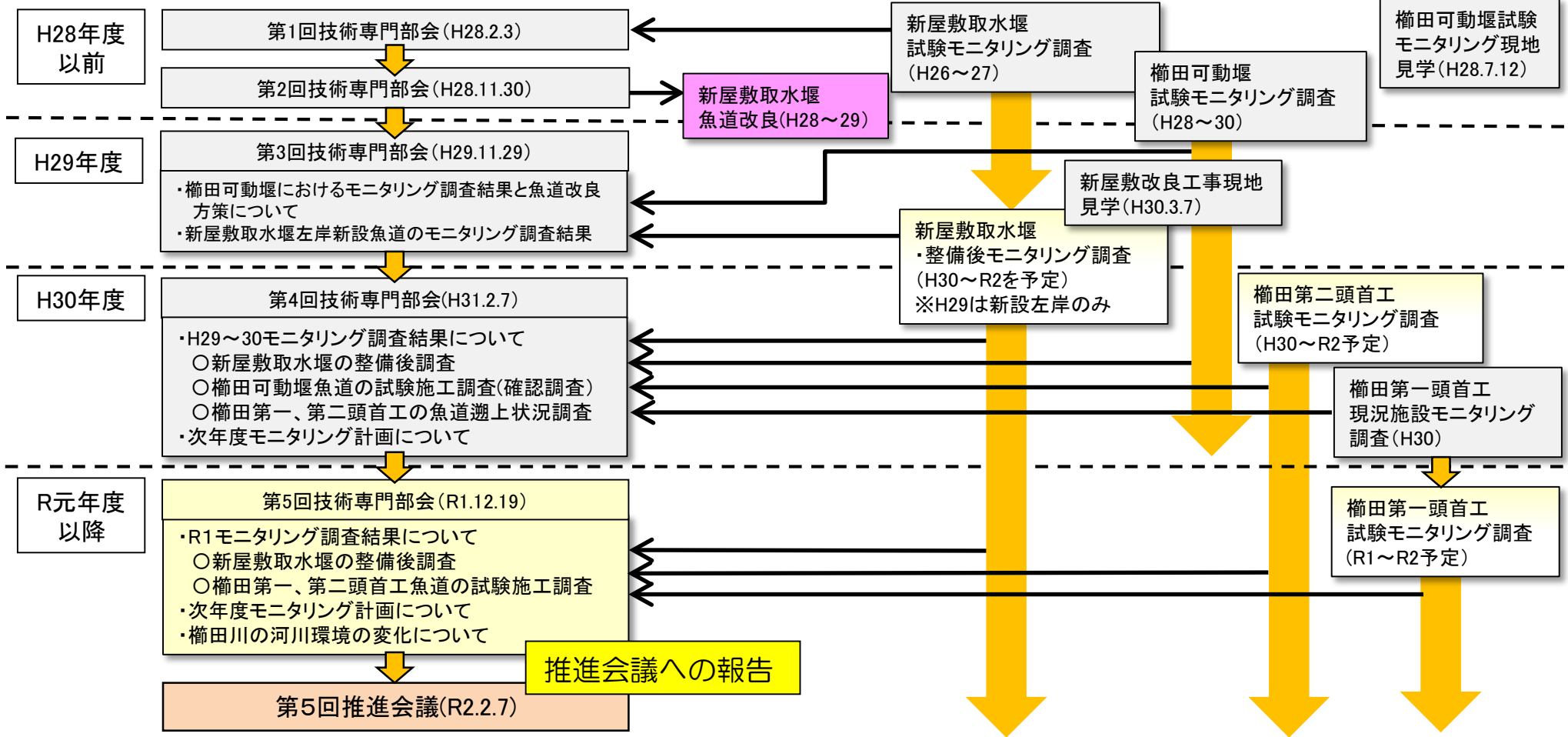
【技術専門部会報告】

令和2年月2日7日

技術専門部会
部会長 河村 功一

1. 技術専門部会の取り組み

- (1) 縦断的連続性再生（魚道改良等）の取り組み
- ・新屋敷取水堰では、整備施設モニタリング調査（平成29～令和元年度）を実施し、新設・改良魚道の遡上状況を把握しました。次年度も継続して調査し、整備効果をとります。
 - ・櫛田可動堰では、試験モニタリング調査（平成28～30年度）を実施し、改良方策を検討し魚道改良案を提案しました。
 - ・櫛田第二頭首工、第一頭首工では、試験モニタリング調査（平成30～令和元年度）を実施し、課題・対応策の検討を行いました。次年度も継続して調査・検討を行います。
- (2) 櫛田川の河川環境の変化
- ・櫛田川の河川環境の変化について、定期的な実施している河川環境調査の結果等を整理し、瀬・淵、ワンド、干潟等の良好な環境の変化等を把握しました。また、櫛田川の水質について情報交換をしました。



2. 第5回技術専門部会の開催概要

- ・第5回技術専門部会（R1.12.19）」を開催し、自然再生モニタリング調査結果や次年度モニタリング方針、櫛田川の河川環境の変化等の整理結果を報告し、留意点や今後の進め方等について確認を行いました。

(1)日時: 令和元年12月19日(金) 10:00~11:30

(2)場所: 松阪市役所 5F特別会議室

(3)議題:

①櫛田川自然再生推進会議 技術専門部会の議事概要について

- ・第4回技術専門部会議事概要について事務局から説明を行い、了承とされた。

②自然再生モニタリング調査結果について

- ・事務局より『縦断的連続性の再生』を進めるための基礎調査として実施した、魚類の生息・産卵・遡上環境等のモニタリング調査結果について報告され、確認しました。

○新屋敷取水堰の新設・改良魚道の整備後モニタリング調査結果

○櫛田第二、第一頭首工魚道の試験モニタリング調査結果

○魚類生息環境調査結果(定着期)、魚類産卵床環境調査結果(アユ産卵期)

○モニタリング調査結果から考えられる櫛田第二、第一頭首工魚道の課題

③次年度モニタリング方針について

- ・次年度モニタリングの方針について事務局から説明を行い、了承とされた。

○新屋敷取水堰の魚道整備後モニタリングの3年目調査(3ヶ年予定)の継続実施

○櫛田第二、櫛田第一頭首工の試験モニタリング調査の継続実施

○魚類生息環境調査結果(定着期)、魚類産卵床環境調査結果(アユ産卵期)の継続実施

④櫛田川の河川環境の変化について

- ・事務局より河川水辺の国勢調査結果等をもとに、生息・生育生物や瀬・淵、干潟等の河川環境の変化等の整理結果について報告され、確認しました。

○増加傾向にあるコクチバス対策の必要性を認識

○干潟のある河口部は、現時点では流下能力には問題は生じていない。対策を実施する場合は治水と環境に配慮した対策が必要と認識

⑤今後の進め方について

- ・事務局より今後の進め方について報告され、確認しました。

○R2年度は、新屋敷取水堰「整備後モニタリング調査(3ヶ年予定の3年目)の実施

○櫛田第一・第二頭首工「試験モニタリング調査」を実施

○モニタリング調査結果より、新屋敷取水堰の魚道整備効果の評価、櫛田第一、第二頭首工魚道の改良方策の検討を実施

○櫛田第一、第二頭首工の魚道改良に関して、関係機関等と協議・調整を実施

最後に、事務局から提案された②～⑤について、第5回推進会議で部会長報告することを確認しました。